

地域いきいき健康マップ

田上
地区

produced by 大津市スポーツ推進委員協議会



1 須賀神社



須賀神社は、牛頭天王・須佐之男命を祭神とする祇園信仰の神社です。日本全国に存在します。羽栗集落の背後の丘陵の裾(羽栗3丁目17番街区)に鎮座しています。祭神は素盞鳴命で、かつては林宮牛頭天王社とも称し、羽栗村・森村・堂村の総社でした。

2 荒戸神社



中野三丁目にあり、祭神は天兒屋命と須佐之男命を祀り、天智天皇の時代の創建と伝えられている。江戸時代には田上郷一帯の総鎮守であったと言われ、現在も鬱蒼とした森の中に社殿を構える。社名の「あらと」は、山の里の入り口を意味するものとされています。

3 石居廃寺跡



飛鳥白鳳時代に建てられたもので、瓦や仏さんなどが出土しています。現在、礎石列を持つ東西約10m、南北約8mの土壇が残っていますが、金堂跡と推定されています。この土壇の北方約20mの畑地に2個の礎石らしいものが確認されています。大津市指定文化財です。

4 大日堂



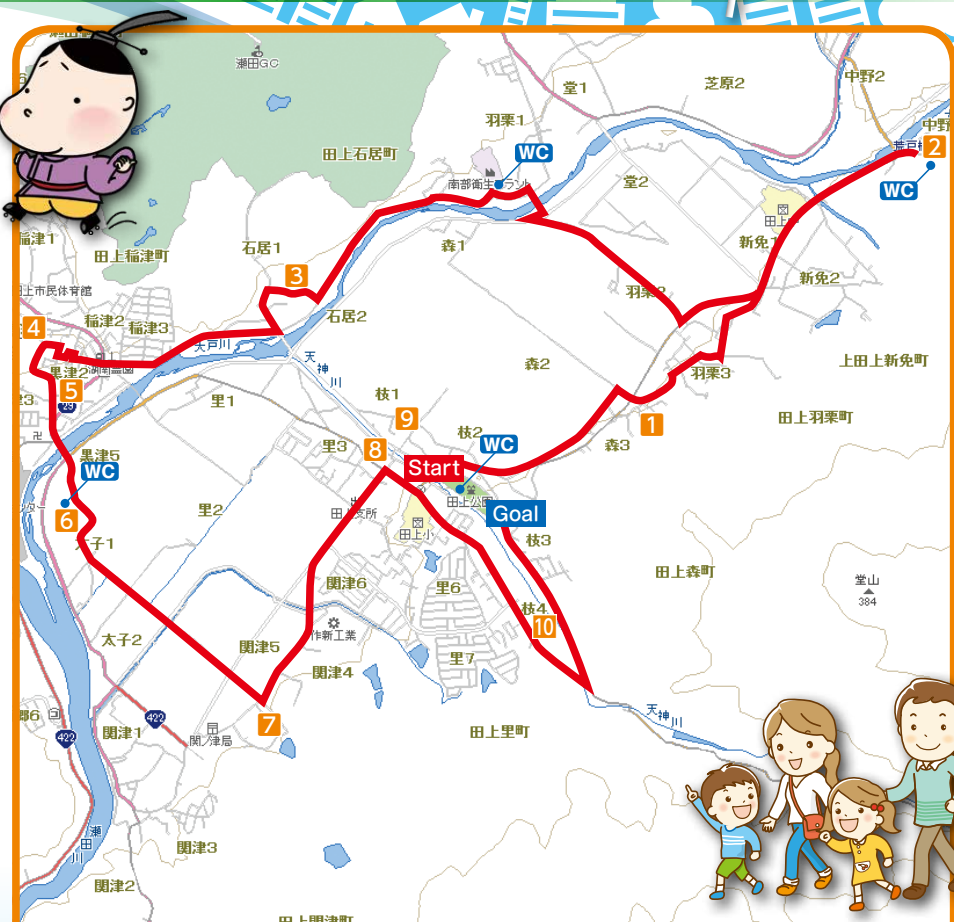
標高129メートルの大日山にあるお堂です。大日山の名前の由来は、奈良時代の僧行基がこの山全体を大日如来の姿とみなし、山頂部の自然石に頭を彫ったことによると言われています。山頂付近に立地する古墳群の存在が近年に確認され、瀬田川流域に位置する中小首長墓として重視され、近江の国の古代史を語る上でも重要な山であります。



9 安楽寺



枝一丁目に安楽寺があります。かつてはこの地に伝教大師最澄が開基の普禅寺という天台宗寺院があり、木造薬師如来座像はそこから安楽寺(現在は浄土宗)に移されたと言われています。また、木造薬師如来座像は重要文化財に指定されていて、公開されるのは毎年9月12日の草木祭の時です。



Start : 田上公園 Goal : 田上公園

距離 : 約15km 目安消費カロリー : 約620kcal / 50kg ・ 約810kcal / 65kg



5 正法寺



正徳4年(1714年)に僧大林が入寺して禪宗の1つである臨済宗に属するようになり、山号は宝珠山と称します。本尊は聖観音は多くの古仏が安置されています。聖観音と持国増長の二天は平安末期、地藏菩薩と薬師如来は中世初頭の作といわれ、帝釈天は明治38年に国宝に指定されました。(聖観音像は大津市の文化財指定)平成6年に本堂修復の際に、床下の箱から数々の「木版」や「絵地図」が見つかった。1750年よりもっと以前の黒津町の様子を描いた絵地図もあったそうです。

6 上津神社



7世紀後半に田上で最も早く創建された神社で、須佐之男命が祀られています。延徳2年(1490年)の変乱により焼失しましたが、翌、延徳3年に造り直されています。過去には立派な神輿がありましたが、水害で流されてしまいました。須佐之男命と、櫛名田比売の間には8人の皇子がいたため、安産の神様でもあるそうです。

7 新茂智神社



建部大社の若宮として西暦761年に建立されました。その時に氏人が鏡餅を供えたことから新茂智神社と呼ばれるようになりました。

8 西方寺



西方寺は浄土宗にして福寿山善住院と号し、大昔は田上山の堂が谷にあり、福寿寺と言う天台宗無本寺の大坊です。元龜2年(1571)浄土宗に改宗され、寛文7年(1667)に総本山知恩院の直末に列しました。境内に膳所藩主本多康将公の弟、忠顕公とその妻子の墓三基があり、また、歴代藩侯の黒印状七通が寺宝として今に伝わっています。

10 田上市民運動広場



大津市営のキャンプ場です。きれいに整備・保全等されているので、家族連れからの人気が高いスポットです。また、デイキャンプ専用で気軽に利用できるのが特徴的です。湖南アルプスの麓にあり、近くには川も流れていて、豊かな自然の中でバーベキューなども楽しむことができます。使用は要申請。(問:市民スポーツ・国スポ・障スポ推進課 ☎077-528-2637)